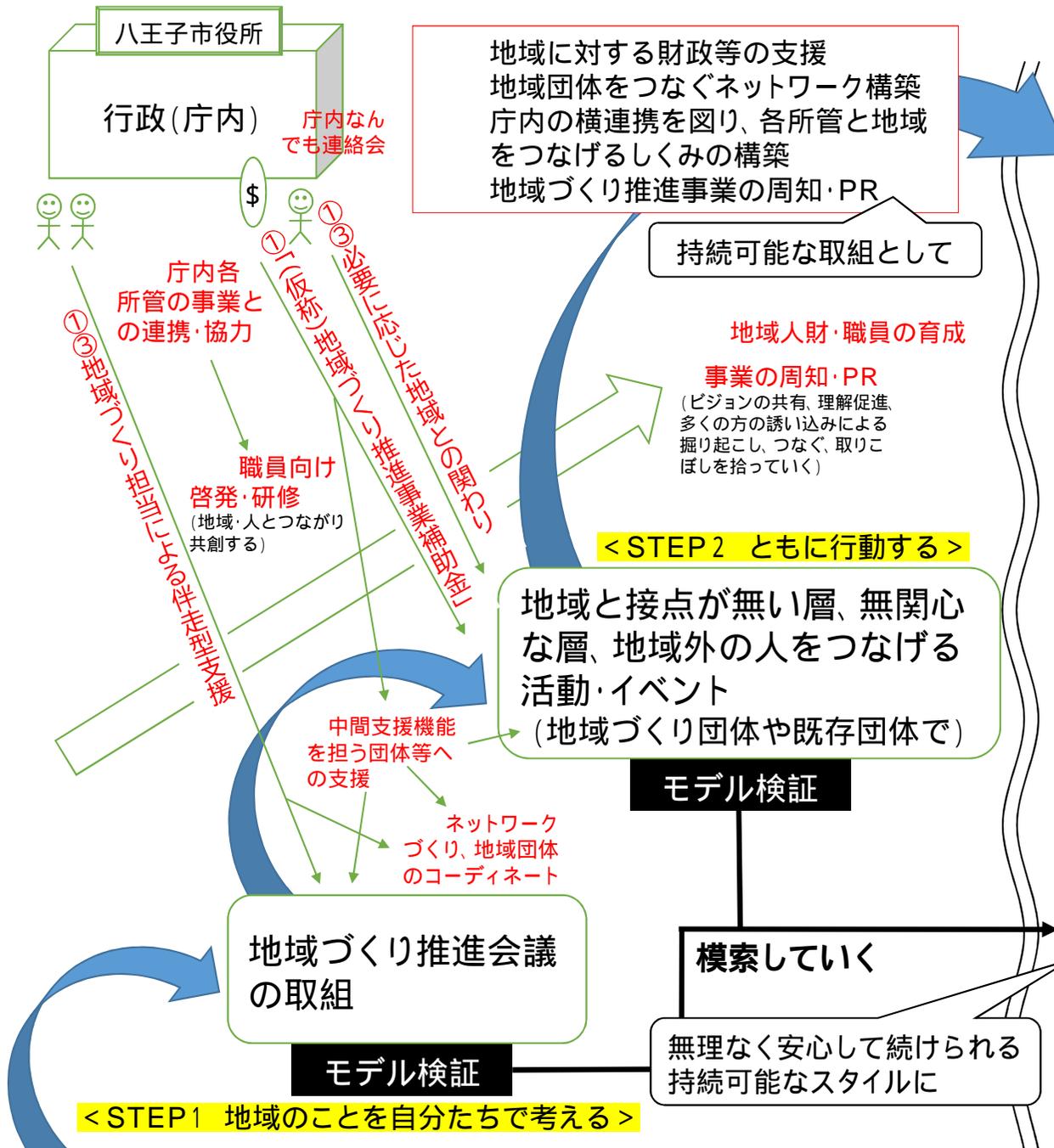


# < 新たな地域づくりビジョン実現に向けたロードマップ >



### < STEP3 みんなの幸せを実現する >

#### 3つの姿

- 誰でも気軽に参加でき、参加する人が「楽しい」「満足」と感じられる取組を継続的に行うことで、地域がゆるやかにつながる
- 地域内外の資源を活用し、みんながその地域に着目するような「魅力的」な取組を行っていく
- 地域づくりで育まれたつながりを通じて、これまでどおり継続することが難しくなっている取組や地域の困りごとの共有が図られ、少しでも改善・解消の糸口を見つけていく

#### ステップの先に想定していること(例)

- 地域での話し合いやつながりによる地域主体の活動・イベント
- 推進会議参加者・地域・行政の三者の望ましい関係性の確立
- 地域発意の「手上げ方式」による推進会議設置 など

< そのうえで、さらに整理・検討を要するものとして >

- 地域担当職員制度
- 都市内分権に向けた地域自治組織
- 地域の居場所・活動の拠点づくり
- 庁内各所管で行っている地域に対する行政からの支援や制度等の整理・統合 など

ゆるやかなつながりを大切に、地域をもっと好きになる！

(現状)

「ゆるやかさ」をコンセプトとして、地域が主体となる取組でもあるので、行政主導による厳密な進行管理を行うものではないが、全てを一斉に実行・実現することは難しいので、市の施策 (= 行政として用意するしくみ) をベースに大まかなステップを示す

2040年に目指す地域コミュニティの姿